

2022年01月11日 3学期始業式にあたり

校長 柳樂 眞悟

明けましておめでとうございます。2022年、令和4年の幕開けです。

20日足らずの冬休み、終業式で話したように生活改善に向けた一步を踏み出すなどして有意義に過ごせたでしょうか。2学期終業式は久しぶりに全校生徒が体育館に一堂に会して行うことができましたが、この20日足らずの間に状況は大きく変わり連日オミクロン株の脅威が報道されています。そのため残念ながら3学期始業式はこうして放送での実施となりました。今後ともマスク着用、手指消毒、体温確認等の基本的な対策を徹底して防衛し、感染症の影響で日々の学びが制約されないよう、これからも油断せず万全の対策を行っていきましょう。

さて、3学期の初めにあたり一つだけ話したいと思います。自分の目標に向かって、小さな一步でも行動に移していこうということです。

メンタルコーチの筒井さんという人の話を読みました。1200万の収入があった仕事を40歳にしてやめて夢であったメンタルコーチを目指しましたがうまくいかない期間が続きました。そんな時、平尾誠二さんのセミナーを聴きに行き、すごく感動したためその感想を伝えに楽屋の前に行ったそうです。けどその時、断られたらどうしよう、と思ったが、扉をノックしてダメだったとしても、扉をノックしなくても、結果は同じかもしれない。でも、扉をノックすれば、もしかしたらなにかが変わるかもしれない、と意を決してノックをしたそうです。するとメンタルコーチに興味をもった平尾さんが応援してくれてスポーツ界の様々な人を紹介して下さり、そこからその仕事が波に乗ってきて、今は人気のトレーナーになっておられます。

彼はドアをノックしたことがきっかけで大きく人生が変わりました。勇気を出して一步を踏み出してみる。それだけで見える世界は変わってくるのです。そして筒井さんは言います

「ドアをノックしたら迷惑するんじゃないかと、みんな勝手に思い込んでいるけど、ノックしてごらんよ。扉を開けてくれるから。まず動こう。動き出したら見える風景が変わってくるで」と。そしてこんな一言も。「僕のやったことは手首を2回動かしただけ。その時、必要なのは勇気や。その勇気も最初の一步だけでええんや」と。感動とは動くからこそ感じられるもの。勇気を持って一步目を踏み出し、自分の成長に向けて感動や出会いの多い年にしたいと思っています。何かをしてしまったという後悔は時が和らげてくれるが、何かをしなかったという後悔は、決して癒やされることはありません。

冬休みに話した生活改善も勇気をもって一步を踏み出してみることで後の結果は変わってきます。きびしく 高く 美しく を目指して勇気をもって小さな一步を踏み出していけば、3学期あるいは2022年が終わったときに今とは違う自分に出会えると思います。

最初にも話しましたが連日オミクロン株の脅威が報道されています。感染症の影響で日々の学びが制約されないよう、これからも油断せず、マスク着用、手洗い、体温確認など万全の対策を行っていきましょう。わけても3年生にあっては、大学入学共通テストをはじめ私大等の試験も始まります。心身ともに万全の状態を迎えられるよう、特に体調管理に気をつけて過ごしてください。学校全体で感染症対策を徹底し日々の学びや生活が奪われないよう協力していきましょう。